



とっばずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1808



偕楽園千波湖 (提供: 川津光雄 広報・会報委員長)

第1808回 例会 平成21年3月10日

点 鐘 … 網中 吉郎 会長
ロータリーソング … 我等の生業
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 … 網中 吉郎 会長
御祝披露 … 網中 吉郎 会長
誕生祝 … 関根 輝男 会員(3月6日)
結婚記念日 … 平野 恭男 会員(3月4日)
 澤田 武男 会員(3月8日)
入会記念日 … 片海 宣光 会員(3月5日)

幹事報告 … 石井 哲也 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話

「今わたしたちの願いは」(ビデオ鑑賞)

大内 恭平 会員

出席報告 … 出席委員会

来週のプログラム(平成21年3月17日)

卓話

「私のロータリー卓話選集」


美呂津 太兵衛 会員

お食事処「大新」



Make Dreams Real 夢をかたちに

2008~2009年度 RI 会長 李 東建 (D. K. Lee)



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

1807 例会(平成 21 年 3 月 3 日)

会長挨拶

網中 吉郎

今日は3月3日、桃の節句です。今から149年前の今日、万延元年(1860)3月3日は、幕府大老井伊直弼が水戸浪士らに討たれた「桜田門外の変」が起きた日です。井伊家の上屋敷は、現在の警視庁の西隣、国会議事堂の前の辺りにあり、桜田門からは4～5百メートルという近さにあります。因みに、Hニューオータニのある紀尾井町(紀伊家:赤坂プリンスH、尾張家:上智大学)にあった井伊家の屋敷は中屋敷です。この日の朝、江戸城に登城する大老井伊直弼の行列総勢60余名が屋敷を出てすぐ、今の警視庁の前あたりで水戸脱藩浪士18名(薩摩脱藩浪士1名を含む)に襲撃され、大老が討たれ、しかもその首を持ち去られたという公儀の威信を揺るがす前代未聞の大事件でした。この事件が起きたのが3月3日の桃の節句の日であったことは偶然ではありません。これは節句の日だからこそ起きた事件です。というのも、3月3日は昔から上巳(じょうし)の節句といって五節句の一つであり、諸大名総登城のこの日は大老が必ず登城するだろうと、襲撃をこの日に決めていたからです。この日は未明から大雪となりました。洋暦でいえば3月24日となりますので、まさに時季はずれの大雪です。この雪が大老側に災いすることになりました。その雪のため警護の武士たちは雨合羽を着るなど厳重な雪支度をし、刀の柄を濡らさぬよう刀の柄には柄袋を掛けていました。この柄袋を掛けていたことで、すぐ刀を抜かず、応戦できずこの乱戦の中で大老の首を取られてしまうことになってしまいました。まさに危機管理の不足がこの結果を招きました。

井伊直弼は彦根35万石の藩主ですが、元々藩主になれるはずのない立場でした。直弼は藩主の十四男に生まれ、他の兄弟のように他家に養子にも行けず17歳から15年間を簡素な武家屋敷で300俵の捨扶持をあてがわれ世捨人のように暮らしていました。自らを花の咲くことのない埋もれ木にたとえ、その住居を埋木舎(うもれぎのや)と名付けていたほどです。そのような中でも、茶道・和歌・国学を学び、居合の練習に励み達人の域にも達したほど文武両道の人でした。ところが兄である藩主の世子(兄)が急逝したため、他に後を継ぐべき血筋の者が直弼しかいなくなり、思いがけなく兄の後を継ぐ

ことになったという苦勞人です。

この井伊家は古くは徳川四天王のひとりで、家柄・石高からいっても譜代大名の筆頭です。横死した大名は譜代外様を問わず家名断絶、所領召上げの処分が幕府の定法ですが、幕府もさすがに井伊家の長きにわたる忠節を考慮して、まだ生きていることにして嫡子に相続させました。しかし後に幕府は、通商条約の無断締結や桜田門外の変での横死の隠ぺいを理由に10万石を減封しました。この幕府の冷たい仕打ちに彦根藩は、大政奉還後は勤皇方になりました。倒幕派の岩倉具視はこのことを聞き、「彦根藩の勤皇宣言は、たとえ嘘でも千金の重みがある」と大いに喜んだそうです。家康以来常に徳川軍の先鋒を務めた井伊家は、鳥羽伏見の戦いでは官軍方につき、彦根藩の功績は官軍に高く評価されました。譜代筆頭に背かれた幕府も危機管理が甘かったと言えるのではないのでしょうか。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・R I の賞・表彰について
 - ・ガバナー月信への投稿のお願い(最終) 受領
- 2・地区インターアクト委員会より
 - 第21回インターアクト国外研修報告書 受領
 - ☆週報受領 館山RC 波崎RC

卓 話

「能登半島活動報告」

千葉科学大学ローターアクトクラブ
会長 小柳 華 氏

1. 概要

- ①活動期間・・・平成20年12月13(土曜)、14日(日曜)の2日間活動を行った。
- ②参加者・・・活動は当クラブから中田幹久(防災4年)、星野荘太(防災4年)、佐々木裕一郎(防災4年)、嘉代広志(環境2年)の計4名
- ③活動場所・・・旧門前町仮設住宅群の一角にある集会場で行った。
- ④活動場所・・・最も地震被害のひどかった旧門前町(輪島市)で現地ロータリアンと会い、災害時や災害後についてお話をしていただき、勉強会を行った。



2. 活動の詳細

- ◎ 勉強会関係
 - ・仮設住宅群の集会場で勉強会を行った。
 - ・現地の参加者では門前ロータークラブから(会長)田

辺中重様、(幹事)山本秀夫様の2名、社会福祉法人「輪島市社会福祉協議会」門前支所から(次長兼支所長)赤坂佳子様、「門前支所 総務部総務課災害復興支援室」から(次長)宮脇新次様の計4名。

・災害時と災害後についてお話をしていただいた。以下はその一覧

a) ボランティア参加総人数

H19年5月27日にボランティアセンターを解散し、その時点で約1万2千人の参加があった。

b) 地震直後のセンター設立・設置後の問題

経験が無く、どこ・誰が主導で対策センターの立ち上げをしていいのかわからなかった。また、水害との違いや余震で心の余裕無かった。

始めは最も被害の大きかった「門前」にセンター本部を置き、輪島市にサテライト局を設置する予定であった。しかし、輪島市の方が知名度が高く、多くのボランティアが輪島市の方へ来ると考えられ、輪島市に本部を置き門前にサテを置いた方がよいのではないかという話がもちあがり、結局は両方に本部が設置されるという分断が発生した。これにより、災害の中心部である門前本部と輪島市本部で対応の相違が生じた。

c) ボランティアが起こした問題

商売(保険や施工関係)目的で来た人や喧嘩を起こすボランティアがいた。石川県がバスで派遣してきたボランティアの中に、スカートとヒールを履いてきた人がいた。作業のできないような服装で参加する人がいた。

d) ボランティアに対する本当の要求が出始めた時期

地震発生後から10日くらい。直後は被害状況の把握に忙しく、また、家族が来て手伝ってくれるため、ボランティアへの要望や要求はその残った仕事となる。

e) ボランティアに対して望むこと

災害地域の実情を理解、把握して活動をしてほしい。活動期間中の生活と身の回りは自分達でどうにかしてほしい。

f) ボランティアの食事について

知識のあるボランティアは食事を持ってきた。知識の無いボランティアはコンビニで食料品を買うつもりであったらしい。

g) 地震直後の飲食店やコンビニ

・飲食店・宿泊施設の内部被害は大きく、再開までに1ヶ月以上はかかった。門前にあるホテルは3ヶ月ほど運営再開ができなかった。

・コンビニは地震後4~5日で再開したが、道路の寸断で品物が入らないため、なくなり次第閉店した。基本的に生活の基盤となるガソリンスタンドや飲食品を売っている店に問題はあまり無かったようだ。

h) 下水道

20日ほどで上水道は復旧したが、下水道が長く規制され、水道を使うことができなかった。

i) 生活する上で困ったこと

家が倒壊や半壊することで、生活必需品の確保に苦労した。また、センターや対策をする職員は仕事が忙しく、生活に困ったようだ。特にトイレの不足に苦労したようだ。

j) 個人的に行政へ望むこと

行政やマスコミに対し、災害現場を輪島ではなく最も被害の多かった「門前町」をもっとアピールして欲しかった。要望は把握していないが、震災後はかなりの要求があったようだ。

k) 行政の災害前の対策

・災害前は輪島市で大規模な震災は想定されていなかった。これは過去100年ほど発生していないためである。そのため、地震直後には水の備蓄が0、乾パン数箱の備蓄しかしていなかった。

震災後は輪島市全体で、4,000食の備蓄を計画的に行うほか、災害時のマニュアルの見直しを行った。

・備蓄や対策を行っていなかった理由として、長い間大きな地震が無かったことで砂地は地震に強いという誤った認識があったようだ。建築基準も昭和56年の改正前であり、地震に弱い建物が多かったようだ。少子化で新しい家を建てなかったことも地震の弱い家が多いことに繋がっている。

l) 地震直後に思ったこと

・地震発生の時間帯と時期が良かった。地震発生は午前9時41分だったので、火災が発生しなかった。また、3月末という暖かくなる時期というのも良かった。

・津波が発生しなくてよかった。門前町は海に極めて近く、津波が発生した場合は被害が大きくなった。

・地震対策はなかなかできるものではない。

m) 地震によって何が得られたこと(対策)

・タンスや棚の転倒防止対策を行った。対策が十分でなくても逃げる時間を稼ぐためのようだ。

・スリッパとくつを出口に用意した。裸足で逃げるのは大変危険と学んだためだ。

・地震の揺れに対し、落ち着いて判断できるようになった。しかしその落ち着きが、非難の遅れなどに繋がる可能性があるようだ。

n) お墓等の被害

門前の地域にあるお墓はドミノ倒しのようになり、鳥居はほぼ全滅した。特に鳥居やお寺の復旧費はその地域で負担するため、個人の負担が増加する原因になる。

o) 緊急地震速報について

現在準備を行っている。

p) 地震保険について

新築の家は地震保険に入っていたが、古い家はいなかった。多くが入っていた「農業保険」が、震災の数ヶ月前に総合保険化され、それが非常に建て直しや補強の足しになった。

q) 地震直後に何が役立ったか

有線の黒電話が役にたった。

r) 地震直後の連絡体制

地震直後はまず自身の安全を確認した、怪我をした場合には他人のことは考えることが出来ないからだ。自身の安全が分かり次第、家族、近所の順に安全確認を行った。地域の人たちは安全な場所を分かっており、決めていなくとも自然に集まったので安否確認を早急に行えた。近所間の団結が強く、安否確認が非常に楽であった。ここで見えた課題は、その後どのように行政に連絡をとるかである。

3. 所感

今回の災害後復興についてお話を伺い、災害地へ行きボランティア活動をするために必要な心構えを改めて確認できました。

現地の情勢や分かる範囲での被害状況を把握し、活動期間中の衣食住について十分な計画と準備をして活動しなければならないという基本的なことを徹底しなければならないと痛感しました。

今後あってはなりません災害が発生し、災害復興支援活動を行う際には、お話いただいた事と実際に活動した経験を役立て、社会奉仕に活かしたいと考えています。



網中吉郎会長・石井哲也幹事

今日、ここに今年度初めての新入会員を迎えることができ、こんなにうれしいことはありません。皆様のご協力ありがとうございました。

中西廣君

2月24日にクラブのロータリー情報委員会の学習会を行いました。職業倫理訓を中心にまじめに勉強しました。10名の参加でした。ご協力ありがとうございました。

山本嘉一郎君

手打そば「甚作」が3月1日リニューアルオープンしました。

長谷川弘君・石上明宏君・宮内博君・鈴木宏政君
杉浦一博君・和田誠君・山本幸男君・吉田孝至君

潮光会展覧会に我々清墨会も出展致します。今週土・日、市民センターホールです。是非見に来て下さい。

臨時理事会開催及び持回り決議 議事録

日時 平成21年3月2日(月) 9:10
通知方法 事務局よりファクシミリにて送信
議題

1・小口弘之新会員の所属委員会及びカウンセラーの件 承認

①所属委員会：親睦活動・家族委員会

②カウンセラー：宮内勝利会員と黒田幸一会員

★★★ 新入会員紹介 ★★★

平成21年3月3日入会



小口 弘之 氏

事業所名：京成ホテル株式会社 犬吠埼京成ホテル

役 職：支配人

職業分類：ホテル

事業所 所在地：銚子市犬吠埼 9575

TEL：22-8111 FAX：22-8199

前回の例会(3/3)報告

点 鐘 網中 吉郎 会長

出席報告

会員総数 38 名 出席規定除外数 9 名
出席者 24 名 出席率 82.76 %
2月17日 確定出席率 93.10 %

来訪ロータリアン

井上照夫君 加川嘉一郎君 (銚子RC)

欠席者 8名

メイクアップ なし

スモールコインBOX 小 計 ￥ 2,915—

累 計 ￥ 60,787—

ニコニコBOX 小 計 ￥ 20,000—

累 計 ￥ 494,600—

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL http://www.tcs-net.ne.jp/~rc

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 網中吉郎 副会長 狩野 勉 幹事 石井哲也

クラブ広報・会報委員会 川津光雄・田杭啓信・山口廣雄・大木 忠・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。